

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第1回甲州市環境審議会
開催日時	令和4年11月24日(木) 13時30分～15時30分
開催場所	甲州市役所 地下 第3会議室
議題	(1)ゼロカーボンシティ推進事業報告 (2)甲州市ゼロカーボンシティロゴマークについて (3)甲州市再生可能エネルギー導入目標策定計画について (4)その他
出席委員	雨宮 正明委員、安藤 雅章委員、内田 智之委員 荻原 雄司委員、萱原 春美委員、瀧澤 康雄委員 手塚 喜久委員、藤巻 眞史委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	環境課 4名(西嶋課長、土屋リーダー、榊永、窪田) 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 5名 (西田、矢崎、伊藤、今城、草野)
その他	

令和4年度 第2回甲州市環境審議会 審議概要（開催日：令和4年11月24日）

内容	次第に基づき以下のとおり進められた。
開会	事務局開会
会長・副会長選出	<p>会長 内田 智之 様（山梨県地球温暖化防止活動推進委員） 副会長 瀧澤 康雄 様（保健環境委員会 会長）</p>
<p>議題 （1）甲州市ゼロ カーボンシティ推 進事業報告</p>	<p>議長：内田会長 ○事務局（窪田） 環境課の補助事業や広報活動・周知活動を資料にて説明。</p> <p>質疑 ○瀧澤委員 補助事業の施策が、どの程度ゼロカーボンに貢献しているのか。CO2削減効果の数字があった方が良いと思うが。 ○事務局（西嶋） できるものから数値での見える化を実施し、計画の中で示す予定。 ○瀧澤委員 市役所全体のCO2排出量はどうやって計算されているのか。 ○事務局（西嶋） 各年の電気、ガソリン、軽油、重油などのエネルギー消費量から推計。 ○瀧澤委員 市役所全体のCO2排出量は市役所本庁だけのものか、それとも甲州市の所有施設全部か。 ○事務局（西嶋） 全ての支所を含む甲州市所有施設の合計数値。 ○瀧澤委員 公共施設のLED化は全て完了しているか。 ○事務局（西嶋） 全ての箇所ですべて完了しているわけではない。他の省エネ施策と合わせてLED化を進めていく。</p> <p>○安藤委員 現状の補助事業以外で、予定している補助事業はあるか。 ○事務局（西嶋） 地域の要望を踏まえ補助対象（ZEH、EV、ペレットストーブなど）の拡充を検討していく。</p> <p>○内田会長 甲州市の取り組みで、レンタサイクル（貸自転車）のサービスがあるが、掲載されていないのはなぜか。 ○事務局（西嶋） 今回は、環境課の取り組みのみを紹介した。</p> <p>（2）甲州市ゼロ カーボンシティロ ゴマークについて</p> <p>○事務局（窪田） 作成したロゴマークについて資料にて説明。</p>

<p>(3) 甲州市再生可能エネルギー導入目標策定計画説明</p>	<p>質疑</p> <p>○雨宮委員 ロゴマークはどういう場面で使用することを想定しているか。</p> <p>○事務局（西嶋） 広報に使用していくことを想定している。まずは広報誌、イベントなどで周知していく。</p> <p>○瀧澤委員 ロゴマークは市民の公募にした方が良かったのではないか。</p> <p>○事務局（西嶋） 業務期間内に作成する必要がある、公募は見送らざるを得なかった。また、背景を理解した上でデザインする専門性が求められるため、専門のデザイナーとロゴを作成し2案に絞った。</p> <p>委員の多数決の結果、ロゴマーク案1に決定。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ(株)（伊藤） 計画策定の概要、基礎情報の収集・整理、温室効果ガス排出量と将来推計、バイオマス資源の検討について資料にて説明。</p> <p>質疑</p> <p>○瀧澤委員 計画の位置づけは。</p> <p>○事務局（西嶋） 総合計画、環境基本計画を上位計画と位置づけ、計画を策定する。</p> <p>○瀧澤委員 市民一人一人の取り組みが重要との報告に同意する。情報発信などを継続希望。</p> <p>○事務局（西嶋） 情報発信を継続し、市民と接しながら省エネ施策等に取り組んでいく。</p> <p>○瀧澤委員 CO2 排出量の推計で活動量とは何か。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ(株)（伊藤） 各部門の出荷額や従業員、車両数などを参考に算出。</p> <p>○瀧澤委員 中小水力発電をもっと活用できないか。</p> <p>○事務局（西嶋） 規模が小さく採算性が得られにくい側面がある。</p> <p>○瀧澤委員 ゼロカーボンを目指すために再エネ導入が必要で、計画を優先すべきであり、採算性を主に考えるのは良くないのではないか。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ(株)（伊藤） 山梨県としても今年度同様のゼロカーボンに向けた計画を作成中で、そちらも参考にした上で甲州市の計画を作り上げてい</p>
-----------------------------------	--

<p>(4) その他 閉会</p>	<p>く。</p> <p>○内田会長 脱炭素に向けては再エネ導入に限らず、省エネ施策も併せて検討する必要がある。ポテンシャルが高い再エネに関しては、全て計画に反映した方が良い。バイオマス発電についても進めてほしい。水道設備はきれいな水を使用しており、再エネ活用できる可能性があるのでは。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ(株) (伊藤) どの課題を解決すれば目標達成できるのかも含めて考えていきたい。</p> <p>○内田会長 庁内の横断的な取り組み、スピーディーな意思決定ができる仕組みづくりも必要。太陽光発電は、規制もあり導入しにくい場所などもある。開発に適した地域に導入が進むよう、優先的に補助金を適用する形にしては。</p> <p>○基礎地盤コンサルタンツ(株) (伊藤) いただいたご意見も参考に、PPA モデルなど様々な導入可能性を検討していく。</p> <p>次回の審議会を2月に予定している。</p> <p>○瀧澤副会長</p>
-----------------------	---